共生

奈良県生協連
2006年10月
NO.62

万葉のいぶきを求めて―(27)

竹田の原・竹田神社

うち渡す　竹田の原に　鳴く鶴の　間鳴く時なし　わが恋ふらくは

大伴坂上郎女

近鉄大和八木駅からでる循環バスの東竹田バス停周辺が「竹田の原」と呼ばれた所です。

竹田の原はかつて大伴氏の領地のあった所で「竹田の庄」と呼ばれました。耳成山、香具山、畝傍山の大和三山が一望できる、文字通り「うち渡す竹田の原」でした。

大伴坂上郎女が、平城の佐保にいる娘の坂上大嬢に贈った歌で「竹田の原にはいつも鶴が鳴いていますよ。あなた元気にしてますか」。今日なら車で30分余りのところですが、当時は、はるかな遠隔地という感じだったのでしょう。遠く離れた娘を思いやる母の情が胸を打つ歌です。

ここには式内社の竹田神社が鎮座しています。郎女が鳴く鶴の声を聞いたのも、この神社にお参りした時だったのでしょうか。今日では「竹田の原」を忍ぶ唯一の場所になってしまいました。人一人いない境内には銀杏の落ち葉が黄金の絨毯を敷きつめていました。

2006年度

県連「上期の取組みと下期の課題」

安心して暮らせる地域社会づくりを目指して

□テーマ別課題について

1．消費者課題

1）こむらいふ奈良では消費者被害実態調査を報告書にまとめ、各所に配布及び啓発活動に活用。次の課題を「今どきカード事情」とし、調査・学習に入った。

2）消費者支援機構関西に検討委員を派遣し、県内でも検討グループが立ち上り、検討に入った。また、近畿圏の県消費者行政とも交流を深めた。

2．防災課題

1）県との災害時物資協定の見直しを図ったが、追加項目として提起した部分については修正までには至らず現状維持とし、追加項目については「申し合わせ事項」で具体化を図ることとした。

2）防災プラットホームでは県社会福祉協議会を中心に幹事団体として県内ネットワーク作りと発災時の県災害ボランティア本部との関係性を構築する。

3）地連の大規模災害対策研究会に結集しつつ、県連においても会員生協への防災情報の提供と研修を行う。

3．平和課題

1）今期ピースリレーは行わず、県境での出迎えと見送り等エールを送る形を取った。ピースリレーに関して総括を行うとともに今後について検討する。

2）その他、啓発活動として、安斎育郎氏の講演を実施。10月7日には、アピール行動として秋の夕べの映画会とピースキャンドルのつどいを開催する。

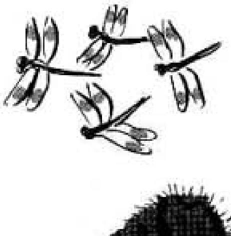
3）大学部会を中心にした憲法を学ぶ企画を実施する。

4．食品の安全と食育の課題

1）米国産牛肉輸入再再開に対して意見表明をした。今後も食品安全委員会や近畿農政局のリスコミに参加し、消費者の意見を届ける。

2）奈良県の食品安全懇話会にならコープ瀧川理事長と公募委員として中野ならコープ理事が就任した。今後も参画・連携し、推進する。

3）県食育推進県民会議にならコープ清水常任理事が参加。また、ならコープ「たべる・たいせつ企画」を後援する。



5．環境・福祉・生活文化・男女共同参画の課題

1）京都議定書発効に伴うＣＯ2削減に向けて、省エネルギー、自然エネルギー活用などの活動を支援する。

2）奈良市里山林整備事業に参加した。今後は、行政とのパートナーシップ及び社会貢献の点で、広報活動中心に後援を行う。

3）アースデー企画に大学生協も参加し、環境に対する認識を深めた。

4）高齢者福祉や障害者福祉活動とネットワークをはかり、情報発信した。
5）男女共同参画や子育て支援など、情報提供する。
6）生協大会は11月25日奈良県新公会堂にて「食と健康」をテーマに開催する。

□会員支援について

1．大学生協部会支援

1）大学部会の継続的な育成を学生委員・関係者と共に進める。
2）部会合宿企画を支援するとともに、今後について関係者との懇談会を開催する。

2．情報提供と収集

1）会員への情報提供と会員情報の外部への発信を進める。
2）９月中を目標にＨＰを立上げる。

3．研修・交流

1）下期に「防災」をテーマに役職員研修を開催する。
2）新生協設立の動きと連動して、懇談の機会を持つ。

4．県・議会・他団体とのネットワーク

1）県行政担当窓口と日常的な情報交換を進める。
2）防災・福祉・県民生活など所轄以外の窓口へも情報提供する。
3）理解と支援の要請を目的に県選出国会議員、議長・副議長懇談を実施する。
4）地方メディアを中心に最新情報の発信を目的に懇談を実施する。
5）友誼団体とそれぞれのテーマで連携する。
6）協同組合連絡協議会の横断的交流会の開催通じて相互理解を深める。
7）クレサラ被害者の会「奈良わかくさの会」の支援
8）食文研10周年事業の支援

5．生協法改正に向けて

1）日本生協連、関西地連、近畿府県連協議会と連携する。
2）県選出国会議員へ改正に対する要望を伝え、理解を促進する。
3）会員の学習を支援します。

6．県連の機能強化

1）情報の受発信能力を高めます。

もくじ

県連下期方針 ………………… 1～2
生協法改正議員訪問 ……………3
消費者課題 ……………………4
近畿地区生協行政合同会 …………5
防災関連 ………………………6
ピースアクションお知らせ ………7
広がる協同・くらしの輪 …………8
つながる連帯・友好の輪 …… 9～10

厚生労働省　生協制度見直し検討会が設置されました！

奈良県選出国会議員の先生方と生協法改正の動きについて懇談をすすめました。

8月25日高市早苗衆議院議員（自民党）

議員上京中のため、事務方木下様にお伝えしました。

8月28日鍵田忠兵衛衆議院議員（自民党）

9月3日馬淵澄夫衆議院議員（民主党）

9月9日荒井正吾参議院議員（自民党）

先生方ご多忙にも関わらず、なごやかにご対応いただき、生協の社会的貢献含めた状況と法改正の動きに対する私たちの願いについて、ご理解をいただくとともに、ご支援の力強いお言葉を頂きました。

8月27日奥野信亮衆議院議員（自民党）

8月28日田野瀬良太郎衆議院議員（自民党）

9月3日前川清成参議院議員（民主党）

9月10日前田武志参議院議員（民主党）

9月16日滝まこと衆議院議員（新党日本）

平成17年度の県食品・生活相談センターの相談概要から

相談件数

県全体で18438件。内センターへの相談は10099件、市町村への相談は8339件です。16年度の26609件より大幅に減りましたが、その大半は「架空・不当請求」の相談減です。

相談の特徴

大幅に減ったとはいえ、半数近くがいまだに「架空・不当請求」です。情報が伝わり未然防止も増えていると思われますが、手口が巧妙化、高額化していると思われます。

相談者は

女性の相談が若干多いようですが、当事者は男女ほぼ半々、20歳未満ではむしろ男性が多くなっています。人数でいえば20代から70代以上まで各世代ほぼ同数の相談になっています。

高齢化？

住宅リフォーム工事の相談が増加。奈良県では持ち家率も高く、ニュータウン開発から3～40年。リフォーム・建て替えの時期にきており、高齢世帯の在宅率も高いことから悪質業者にとって狙い目？本人に被害意識のないことが次々販売を生みやすくしています。
高額商品といえば、金融商品や株の運用話など被害に合えば高額になります。未公開株や外国為替取引で相談がでています。
2007年から始まる団塊の世代の退職金、運用には充分気をつけて。

気をつけて！

＊悪質商法はよく知られているが、自分は大丈夫と思いがち
＊被害に気づかないことも多い
＊地域や職場のコミュニケーションを活用、情報交換を
＊おかしいと思ったら身近な人や相談センターなどへ相談
＊クーリングオフも活用
＊周りで気になることがあれば一声かけて。（こむらいふ奈良調査報告より）

KC's からのお知らせ

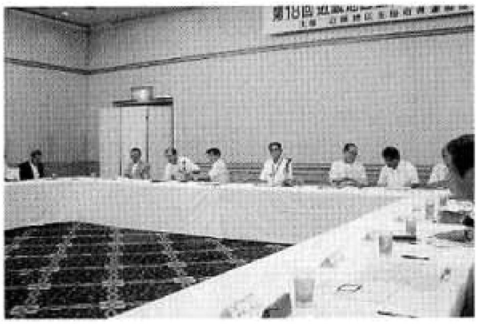
＊ＤＭを集めてます！
『狙われていませんか？あなたの退職金！』として資産運用など、金融商品の情報を集めています。
不当な勧誘や契約条項など、おかしいと思われるＤＭがお手元にありましたらご提供ください。
これから団塊の世代の退職が始まり、多額のお金が個人の手元に届きます。
大事な虎の子！　みすみす失わないように気をつけましょう！

＊『賃貸住宅契約110番』を実施します。
日時；10月28日(土)　10：00～16：00
Tel；0120－804－110
敷金だけじゃなくこれも負担？
○○費ってホントにいるの？・・・入退去時の疑問などをお寄せください。

消費者支援機構関西KC's
〒540-6591　大阪市中央区大手前1－7－31　OMMビル大阪府消費生活センター内
Tel　06-6945-0729　Fax　06-6945-0730

近畿地区生協行政合同会議が開催されました！

去る8月31日和歌山県生協連を当番県に、ホテル和歌山東急ＩＮにて標記の会議が開催されました。厚生労働省近畿厚生局はじめ、各府県行政担当課と生協関係者約50名が参集し、テーマに基づく報告交流と相互のパートナーシップについて深めました。奈良県からは食品・生活安全課堀川課長・田中主査にご出席いただきました。



□はじめに

開催地和歌山県より同環境生活部楠本隆部長より歓迎の挨拶があり、主催者を代表して、近畿地区生協府県連協議会浅田克巳代表(兵庫県連会長)、引き続き、厚生労働省近畿厚生局健康福祉部江波戸一敏部長、日生協渉外広報本部伊藤和久本部長の順でご挨拶及びご報告がありました。

近畿厚生局
江波戸部長

和歌山県環境生活部
楠本部長

協議会代表
浅田兵庫県連会長

日生協
伊藤本部長

□基調報告として

「都市との交流･連携による新ふるさと創り」をテーマに、和歌山県農林水産政策局新ふるさと推進課西山彰彦課長様より基調報告として、和歌山県の施策の一つとして「緑の雇用事業」における「荒廃森林の再生」や「定住による山村地域の活性化」について現状と取組み状況について報告がありました。

報告中の和歌山新ふるさと推進課西山課長

□実践事例交流では

以下のテーマに基づいて、各府県行政はじめ府県連関連団体より報告があり、質疑含めた活発な意見交換が全体で行われました。

1. 京都くらしの安心・安全ネットワークについて
2. 団体訴権制度の確立と行政との連携について
3. (社)ふくいくらしの研究所の取組みについて
4. 「たべるたいせつフェスティバル」について

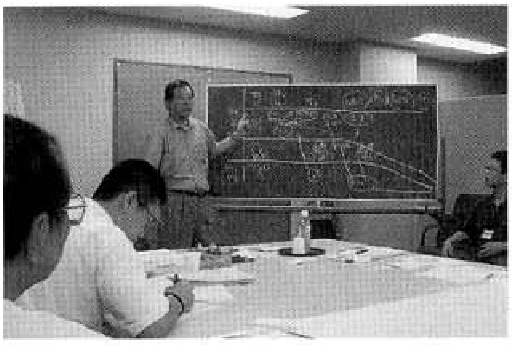
懇親中の奈良県食品・生活安全課　堀川課長

□懇親会

会議終了後、懇親会が開催され和やかな雰囲気の中でパートナーシップに基づく、組合員・消費者への安心安全な暮らしへの貢献について率直な意見交換が進みました。

災害Xデーに備え、防災に向けた取組みが進んでいます！

□「県ボランティア本部」運営マニュアルの策定はじまる！



8月4日県県民生活課と県社協を中心に現在進行中の県ボランティア本部立上げに関するマニュアル作りに関連して、東京ボランティア市民センター副所長　安藤雄太氏を講師に学習会が県庁で開催され、事務局含め10名が出席、防災プラットフォームとの関わり見据え、主要団体からも参加しました。

県防災統括室第一係　山中氏より県の地震対策のアクションプランについての報告の後、講師による三宅島災害対策ボランティア活動の状況等を聞き、ボランティア本部立上げについてグループワークによる簡単な図上でのシュミレーションと意見交換が行われました。防災に関して、初動の遅れが被害拡大に繋がる等の報告があり、地域コミュニティーの重要性が強調されました。

□防災リーダー研修（主催：県防災統括室）

写真は、9月3日「第2回」講演風景

8月5日県主催で標記リーダー育成を目的とした研修が8月から月1回3ヶ月連続講座として第一回目が開催された。県連事務局長と会員生協から3名の計4名が受講しました。

はじめに、県防災統括室より全体50名の定員に対して、当日約3倍156名が参加、関心の高さと熱意に応える上で急遽調整され、当日ほぼ全員受け入れ対応がなされたことの説明があり、県民の関心の高さを感じました。

前段、講義として、台風と風災害について奈良地方気象台防災気象官西賀和弘氏が、土砂災害と対策について神戸大学都市安全センター沖村孝教授の講演がありました。

後段実技として、エリア別消防本部各担当による普通救命講習が開催され、気道確保とあわせた人工呼吸の仕方、ＡＥＤ（自動対外式除細動器）の使い方、心臓マッサージの仕方等心肺蘇生の基礎知識について実体験型学習が行われ、目からウロコの思いで非常に貴重な体験が出来ました。特に、普通救命講習は、災害に関わらず緊急事態に備える上で、一度は体験しておくことは重要であると感じた。また、ＡＥＤの設置が拡大し、その有効性のこの点から営業所レベルの設置などの拡大を推進する必要があると感じました。

ピースアクション2006秋の企画

秋の夕べのピースキャンドルと映画の集い

子供たちに伝えたい被爆地からのメッセージ
奈良初上映！　長編アニメ

NAGASAKI 1945
アンゼラスの鐘

ストーリー：1945年、美しいアンゼラスの鐘が時を告げる浦上天主堂の近くに建つ浦上第1病院はとっても頼りになる存在でした。ところが、8月9日11時2分、長崎上空で閃光がきらめき、一瞬にして人々は原爆に焼かれ・・・。奇跡的に助かった病院の人々は、必死に救護活動を続けます。

（上映時間　約80分）
時間：16：40〜18：00

平和の灯火を
般若寺から

映画会終了後
ピースキャンドル点火!!
会館前「つどいの広場」　時間：18:00〜18:30
平和への思いをメッセージにのせて、ピースキャンドルに灯を灯します。（雨天時は、キャンドルは中止）

日　時	10月7日（土） 時間　16：30〜18：30
会　場	奈良県文化会館2階小ホール・つどいの広場
参加協力費	大人（中学生以上）500円、小学生以下無料

お申込み・お問い合わせ先
ならコープ組合員活動課　0742−34−8735　　コープ自然派奈良　0743−59−6660

*9/25日（月）9:00から申込みを電話受付けします（先着300名）。保育が必要な方は、参加申し込み時に一緒にお申込みください。
*乳幼児のお子さまは映画会にはご入場いただけません。（保育有り8ヶ月から:保育料300円）
*参加協力費及び保育料は当日集めさせていただきます。

［主催］ ピースアクション2006inなら実行委員会
奈良県生活協同組合連合会（市民生活協同組合ならコープ、コープ自然派奈良、奈良労済生協、奈良女子大生協、奈良教育大生協、奈良県立大生協、奈良高専生協、大阪樟蔭女子大関屋キャンパス生協）、ならコープ平和の会

広がる協同・くらしの輪

□労済生協総会が開催されました。

7月31日春日野荘（奈良市）にて開催され、代議員数120名に対して、実出席65名、委任29名で総代会は成立し、来賓として県連逸見会長が臨席、連帯の挨拶をしました。ならコープからは、辻副理事長はじめ代議員として3名の理事が出席し、全議案とも原案通り承認され、盛会の内に終えられました。

労済生協総会

□県連理事長交流会を開催しました。

9月21日県連理事会終了後、「春日ホテル」（奈良市）にて県連会員生協理事長6名がご参集いただきました。一部体制の変更生協もあって、1年に1回ですが、なごやかに交流が行われました。ここ数年参加のなかった樟蔭女子大学生協から新役員川上正浩理事長が参加されました。

県連理事長交流会

□県連ホームパージ開設

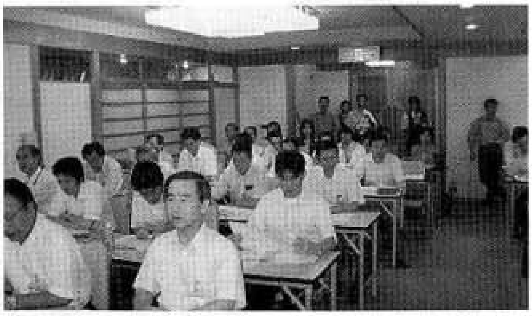
10月1日より、以下のアドレスで奈良県連のホームページを開設しました。県連活動の最新情報やイベント情報、また、機関誌「共生」のバックナンバーごとの掲載など。県連の活動を広くかつ継続的に様々な情報を見ていただけることを目的にしています。

アドレス http://www.narakenren.coop

□「協同組合デー」のつどい（奈良県協同組合連絡協議会）

7月10日「猿沢荘」（奈良市）で開催、県下協同組合関係者約80名が参加しました。行政は、生協関係部局からは、食品･生活安全課堀川課長、田中主査にご臨席を頂きました。また、参加行政を代表して農林部次長兼林政課課長　横田寿久様よりご挨拶がありました。

基調講演は「心の健康」をテーマに音楽療法士　高本恭子氏が講演。懇親会では、和やかな雰囲気の中で各団体の役員レベルでの懇談が進み、新たな事業展開における生協との連携について、ＪＡ女性部との交流の具体化などの提案があり、有意義な交流に繋ながりました。

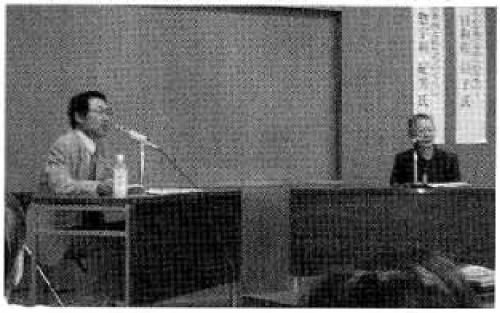


つながる連帯・友好の輪

□消費者フォーラムが開催されました。

7月14日奈良中小企業会館で県食品・生活安全課主催で開催され、一般及び相談員等関係者約100名が参加。はじめに雪印社外取締役日和佐信子氏の講演の後、条例改正に関わられた大阪市立大大学院惣宇利　紀男氏による県消費生活条例の改正ポイントについて分かりやすい解説がありました。

両氏によるディスカッション風景



□竹でバームクーヘン作り体験（里山林整備事業）

8月20日森林環境税助成を活用し、里山林整備事業の一環として、また環境保全啓発活動として「里山で遊び・学ぶ」をテーマに、都祁村の「はなはなビレッジ」で開催しました。当日は、ならコープ組合員家族17組､約70名の親子が参加。また､奈良市･奈良市森林組合にも後援をいただき、関連活動団体ボランティアなど約20名がこれを支え､猛暑の中､ケガ・事故もなく無事終了しました。アンケートでの評価も概ね好評でした。お菓子作りの楽しみだけでなく、散策による自然観察、実際に木の伐採や橋作りなども体験できたことは、参加者それぞれが里山への関心を深めていただく機会に繋がりました。

□県防災訓練が実施されました。

8月26日桜井市天理教敷島周辺で行われ､47団体約750名が参加しました。県連は、防災プラットフォーム委員会副幹事団体として参加。展示ブースで同委員会の設立趣旨や機構について、また実際の有事において、どのような活動展開が可能かを紹介。ボランティア支援を中心に災害時対応の中心的組織として今後さらに活動の具体化を進めます。

防災プラットフォーム展示ブースの模様

防災プラットフォーム

関連団体・機関が、その特性や機能を生かし、発災時、県災害ボランティア本部と連携し、総合的・一体的な復興支援に取組む官民一体の組織。生協とＮＰＯセンター・ボランティア団体・民生委員協議会・労働組合・日赤・看護協会・行政・社会福祉協議会等13団体が合流しています。

□大規模災害対策研究会が開催されました。

8月29日標記の研究会が地連主催で大阪で開催され、府県連及び地域生協から47名が参集。ならコープからは、中常任はじめ関係部局の部長室長課長等6名が参加。(ならコープ業務S山本部長:世話人)

基調講演として、京都大学経済研究所教授丸谷浩明氏が生協への期待について、宮城生協経営企画室課長五十嵐桂樹氏が同生協震災対策の取組みについて、各講演がありました。

その後、基調講演踏まえ我が生協における課題についてグループ討議が行なわれたが、全体通じて、BSP（事業継続計画）を柱にした災害対策の必要性について参加者それぞれが認識を深めました。

□全国消団連50周年記念シンポジウムが開催されました。

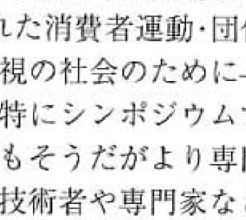
9月7日、砂防会館にて開催され、350人あまりの出席がありました。『50年の歩み』発行、シンボルマークとキャッチコピーの発表、記念事業『メディアに描かれた消費者運動・団体』調査報告、パネルディスカッション『創る・つなぐ・拓く―消費者重視の社会のために―』が行われた。日本の消費者運動の歴史を振り返る機会になりました。特にシンポジウムでは今後の消費者運動の課題があぶり出され、消費者運動は団体訴訟制度もそうだがより専門性が求められ、専門集団とのネットワークや新たな人材開発(定年退職の技術者や専門家など)が求められる。団塊の世代の消費者運動への呼び込みが必要で奈良県には消団連がなく、生協連が肩代わりしているイメージがあるが、やはり県内の消費者団体のネットワークがほしいと感じました。

□近畿の消費者行政担当者と消費者支援機構関西との懇談会が開催されました。

9月11日KC's（消費者支援機構関西）主催で大阪府消費生活センターにて開催され、奈良県行政からは食品・生活安全課古川主幹と島地係長にご出席いただきました。

近畿2府5県の行政から11名、KC'sから14名が参加した。一NPO法人の呼びかけで近畿一円の行政担当者と一堂に会することはめったにないことだが、大阪府の働きかけや団体訴訟制度への対応もあり貴重な機会となった。

KC'sから団体の紹介と法制度について、検討グループの活動について報告。行政からは条例、相談業務の概要、特消法に基づく申し出や指導について報告いただいた。また団体訴訟制度に関連して、今後の行政との関係作りなど意見交換した。また、年に1度はこうした機会を持つことが確認されました。



県連日誌

7月		8月		9月	
1日	奈良市清掃業務審議会	2日	地連男女共同参画委員会・学習会	3日	県防災リーダー研修
3日	憲法学習会（主催：コープ自然派奈良）	4日	防災プラットホーム		馬淵議員・前川議員懇談
9日	ピースアクション「安斎育郎先生」講演会	5日	防災リーダー研修（県主催）	5日	ピースアクション実行委員会
			県もてなし県民会議		里山林整備事業協議会
10日	奈良県「協同組合デーのつどい」協同組合連絡協議会	8日	なら食と農（みのり）の県民会議	7日	全国消費団体連絡会50周年シンポ
12日	ピースアクション実行委員会	9日	ピースアクション実行委員会	9日	荒井議員懇談
13日	こむらいふ奈良	20日	里山イベント（奈良市）	10日	前田議員懇談
14日	「消費者フォーラム」（県主催）	21日	こむらいふ奈良	11日	相談センター懇談会（KC'S）
18日	地連運営委員会	24日	建築物イベント実行委員会	14日	消費者政策推進交流会（地連）
19日	地連府県連協議会	25日	高市議員懇談	15日	奈良NPOセンター5周年
20日	県連理事会	26日	防災訓練（奈良県）	16日	滝議員懇談
25日	全国消費者団体交流会	27日	奥野議員懇談	21日	県連理事会・理事長交流会
31日	労済生協総代会	28日	鍵田議員・田野瀬議員懇談	25日	ピースアクション実行委員会
		29日	防災研究会（関西地連）	26日	地連運営委員会
		31日	近畿地区生協・行政合同会議	27日	こむらいふ奈良

お知らせ

ならコープ「たべる、たいせつフェア」in なら 開催!

生産者・メーカー大集合！試食展示ブースで「見て、聞いて、食べよう」

とき　2006年11月27日（月）10:00〜15:00

ところ　奈良県広域地場産業振興センター（大和高田市）

お問合せ　ならコープ組合員活動課　電話0742－34－8735

編集後記

日本の舵取りが安倍総理大臣に決まった。私たちのくらしの先行きは彼に託すことになる。

「痛みを伴う改革」と言って小泉さんが進めた改革路線が継承されるようだ。改革の必要性はわかっていても、どこまで痛みを我慢するのか？「痛い！」という声も是非安倍さん聞いてください。（迪）

「食べること」「生きること」その他、職務を通じて、いろいろなことを感じ、考えさせられる機会が多くあります。特に、課題の推進と言うことだけでなく、自らの健康管理面からも、最近「食べること」に注意するようになりました。（ダイエット？　笑）年齢を重ねる中で、健康であることは、様々な可能性を生み出します。いかに充実した生き方ができるかを思うとき、「健康であること」、「チャレンジ精神を失わないこと」がキーワードかもしれません。それでも「天高く馬肥ゆる秋」旬の食材が美味しい季節、誘惑が多くて困ります。（正）

奈良県生活協同組合連合会　〒630－8136　奈良市恋の窪1丁目2－2　ならコープ気付
TEL 0742－34－3535　FAX 0742－34－0043